

平成 29 年度 研究成果報告書

Research Achievement Report FY2017

講座名・職名 Course Title・Job Title	アジア I 講座・准教授
氏名 Name	中嶋善輝
専門分野 Academic Field	モンゴル語学, アルタイ言語学

主たる研究テーマ Principal Research Subject	アルタイ言語学 (モンゴル語とチュルク語の言語接触)
<p>平成 29 (2017) 年度は, アルタイ諸語のうち, カザフ語とモンゴル語に焦点を当て研究を行ってきた。日頃は, 大学書林より出版予定の『簡明カザフ語辞典』(仮名)の執筆を行ってきた。見出し語数は, 13000 を目指した, 中央アジア・カザフスタン共和国で話されているカザフ語 (キリル文字) による辞書である。辞書の下地には, 基本語彙を網羅するべく, Р. Н. Нұрғалиев (1992), <i>Краткий казахско-русский словарь</i>, Главная редакция Казахской советской энциклопедии, Алма-Ата (収録語彙数 5500) を用いた。ただ, 同書には見出し語表記上, 各所に不備が見られたため, 正書法辞典 (Р. Сыздыкова, (1988), <i>Қазақ тілінің орфографиялық сөздігі</i>, «Қазақстан» баспасы, Алматы 等) で修正を行いつつ, 翻訳作業を行ってきた。また, 不足の語彙は, Т. Жанұзақов (1999), <i>Қазақ тілінің сөздігі</i>, «Дайк-Пресс» баспасы, Алматы。や Р. Сыздыкова (2008), <i>Казахско-русский словарь</i>, Главная редакция Казахской советской энциклопедии, Алматы 等から補った。内容記述に関しては, 拙著『簡明ウズベク語辞典』(大阪大学出版会, 2015) の様式に倣い, 語彙起源や文法説明も簡潔に施している。文例は複数のカザフ語文献から吟味・収集しながら, 単なる語彙集でなく, 且つ既刊辞典の日本語版ではない, 独自性のある内容を目指して目下執筆中である。</p> <p>論文としては, 2018 年度日本モンゴル学会紀要 No.48 に掲載予定の以下の論考を著述した。 現代モンゴル語における <i>yudur̆ya</i> (гударга) 《ジステンパー》と <i>gesigün</i> (гишүүн) 《枝; 成員》の語源について—先チュルク語 A からの—考察—</p> <p>この論考は, 筆者が 2016 年に発表した以下の 2 つの研究発表の一部として言及した, モンゴル語における先チュルク語 A 系借用語彙と見なしうる新たな語彙, <i>Mo. yudur̆ya</i> (гударга) 《ジステンパー》と, <i>Mo. gesigün</i> (гишүүн) 《枝; 成員》を取り上げて, 論文化したものである。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「モンゴル語における先チュルク語 A 系語彙について—ダブレットに見る類似性発展の一側面—」第 53 回野尻湖クリルタイ, 2016 年 7 月。 2. “Монгол хэлний нохойтой хамаатай гурван үгийн гарал үүслийн тухай” (On the origin of three Mongolian words concerning with dog), 第 11 回国際モンゴル学者大会, 第一分会 (語学・文献学研究 1) 2016 年 8 月。 	